

森けんじ市議会レポート

きらら通信 vol.16

平成31年4月



大網小学校協の「子育て交流センター」工事。



「平成」最後の市議会定例会が、閉会しました。

平成31年第1回定例会が終了しました。注目すべき議案等は、一般会計補正予算(小学校・中学校施設整備事業(エアコン)、国保大網病院線出金(収支不足補填)、企業誘致条例の一部改訂、駒込地区内の字の区域及び名称の変更(東駒込)、新教育長の任命、農業委員会委員の任命への同意、などがあげられます。

今議会では、新年度予算案が審議され、一般会計予算約148億4500万円、他を承認しました。ただこれにより財政調整基金(万)に備える市の「貯金」の様なもの**が10億円を割って5億6千万円に落ち込む事になります。**これは私たちの規模の自治体にとって「危機的状況」と言うべきであり新しい事業が何もできない。そんな中、**市役所組織に「部制」の導入が提起されましたが、人件費の高騰を伴う事もあり今回は見送る事としました。**

今議会でも、質問(会派代表質問)を行いました。

○新年度予算編成について

○圏央道大網白里スマートインターチェンジ周辺等の土地利用について(IC、大網駅、大網バイパス周辺)

○部制の導入について

○生活支援体制整備事業について

詳しくは、裏面や議会だよりをご覧ください。市議会ホームページからは動画も見られます。

「災害が起ってしまった場合の議会の対応」について、議会内で取り決め等がない事に今まで強い懸念を持っていました。先輩議員はじめ皆様にご理解いただき、この4月、議会内に、「災害時の議会対応検討会議」を設置しました。**災害時の議会BCP(業務継続計画)、災害時の行動についての指針を決める事を目的とします。災害はいつやってくるかわかりません。議会をさらに強く、有機的に運営できます様、一層努力して参ります。**

ご意見、ご要望などがありましたら、ぜひお知らせ頂きますようお願いいたします。

森けんじ

☆「第14回市政報告会」を開催します。

日時: 令和元年5月11日(土)、午前10:00～

場所: みどりが丘自治会館

※どなたでもご参加いただけます。



市政報告会のようす

3月24日、大網白里スマートインターチェンジが供用開始！



首都圏中央連絡道に設置。総工費約43億円のうち、約11億9000万円を市が供出。今後の市から近隣へのアクセス向上はもちろん、大網白里への誘客効果も期待されます。



千葉県立大網小学校
卒業証書授与式々場

担当委員会は文教福祉常任委員会副委員長。他に議会だより編集委員長、議会運営委員会委員、等で活動しています。

森けんじとまちづくりを考える会(千葉県政治団体No.388070)

大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス: 0475-51-1478

ホームページ : <http://www.morikenji.net/>

(「森けんじ」で検索ください)

2月、平成31年第1回定例会での代表質問の内容(要約)

○平成31年度予算編成について

問、財政の健全化は、「健全化そのもの」が目的ではない。新しい事業、市民の福祉等に資する事業を進めることが目的のはず。財政が厳しい中、新年度の予算案はどのような考えと目的で作られたものなのか。

答、既存事業の廃止または縮小、新規事業の抑制について重点的に取り組んだ結果、一般会計の予算規模は5年ぶりに150億円を下回り、対前年度比4.4%減の148億4,500万円となりました。目的別の歳出予算では、総務費や民生費が増加する一方で、大規模な建設事業が終了する土木費や消防費が大幅に減少した所です。

主な事業ですが、平成31年度中にみどりが丘に完成予定の「(仮称)子育て交流センター」の整備費や4月から事業内容を拡充する「子育て支援館」の運営経費を計上した他、新たに「移住・定住促進住宅取得等奨励金」を創設し、子育て環境の一層の充実を図る事としました。また、環境省の補助金を活用して、大網病院や農業環境改善センターなどに省エネ設備を導入するなど、有利な財源を確保しつつ公共施設の老朽化に伴う施設整備の整備に取り組む事としています。しかし、編成後の財政調整基金は5億6千万円程となり、財政は極めて厳しい状況でございます。このままですと、数年後には基金が枯渇し赤字決算になることは確実でございます。市では、市民サービスの急激な低下を招かない様に努めながら、事業の厳選や先送りを行うなど、財政健全化に向けた取り組みを強化して参ります。

問、収入が足りなければ、歳入を増やす事を考えていくべき。市として「収入を増やす」事についての考えは。

答、持続可能な財政運営を確立するためには、市税を始めとする歳入の確保を図っていく事は重要と考えます。市では、市税の徴収率の向上に努め、子育て支援策の充実により子育て世代の移住・定住の促進を図る他、市街化調整区域における地区計画運用基準の策定や企業誘致条例の改正などにより、国道128号沿道や大網駅周辺を中心に企業誘致を推進し、税収の増加を図る事としております。更に、都市計画税の導入の検討を進めると共に、使用料や手数料については、受益者負担の適正化の観点から見直しを図り、一層の財源の確保に努めて参ります。

○圏央道大網白里スマートインターチェンジ周辺の土地利用について

問、「大網白里スマートIC」が3月24日に開通する。でも市民としては、総費用が43億円、市が11億9千万円、負担してICをつくる事で経済的メリットがあるのかと考えた時、現時点で周辺に何がしかの開発は見えない状況。大網駅南口や国道128号沿線も同様です。市のほぼ全域が「市街化調整区域」である事、「農地転用」の難しさ等、法的に難しい部分もあるかと思うが、ICを作りこれから周辺をどの様にしていくのか。

答、スマートICの開通により、交通アクセスが一段と向上します。この効果が市内の広範囲に及びます様、駅周辺の整備や国道128号の沿道の活性化、そして子育て支援策の充実、あるいは企業誘致や観光振興など、必要な施策を実施していく中で、交流人口や定住人口の増加につなげて参りたいと考えます。

※その他、○市役所組織機構の見直し(部制導入)について、○生活支援体制整備事業について、問い質しました。



駐車場ばかりの大網駅南口

新しいインターチェンジや駅周辺の開発は、今後の大きな課題です。



開通後も変化のない新IC周辺

質疑の概略

☆新年度予算編成について

新年度当初予算は一般会計で約148億円。財政調整基金は5億6000万円に落ち込みます。財政厳しい折、予算について問い質すと共に、市民サービス低下とならない様に確認、さらに「収入を増やす」事について確認、提言を行いました。

☆新スマートIC周辺の土地利用

新しいスマートインターが出来る中、どのような効果が見込めるのか確認。インター周辺、駅周辺、バイパス周辺の今後の開発の可否、「市街化調整区域」「農地転用」の問題を明らかにし、今後に向けた提言を行いました。

☆市役所組織、部制導入について

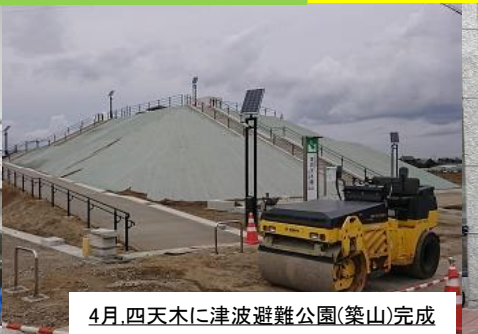
市は「部制」の導入を求めました。17課の上に4人の「部長職」を新設。部制そのものを否定しませんが、市職員の人件費を押し上げてしまう事となります。また職員の多くが理解しているとは言い難いと考え、財政厳しい中での導入に疑問を投げかけました。市側も今回は議案を取り下げました。

☆生活支援体制整備事業について

地域で地域を支える「生活支援体制整備」事業については、2025年までに整備しなければならない事業です。社会福祉協議会に委託予定ですが、市民の理解が追いついていません。整備推進のためには多くの市民の理解が不可欠であり、その為の広報について提言を行いました。



2月、駅構内「マリンの土産店」オープン



4月、四天木に津波避難公園(築山)完成



2月、池田市をはじめ関西地区自治体を調査視察(自費)

※次回の大網白里市議会は…

令和元年第2回定例会は令和元年6月7日(金)-28日(金)まで開催予定です。ぜひ傍聴頂くかインターネット中継をご覧ください。(一般質問は6/13(木)~17(月)を予定。詳しいスケジュールは、市議会ホームページ等でご確認ください)

平成31年4月(第16号)

発行人: 森 けんじ

299-3255 大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス: 0475-51-1478

http://www.morikenji.net/ (メールもHPからどうぞ)

